



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.242 2012.12.18

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

東京12区

池内さおり候補 大健闘

2012年総選挙小選挙区(東京12区)の結果

候補者名	得票	得票率(%)
池内 さおり	41,934	18.91
日本共産党	北区	31,747 19.90
	足立区	10,187 16.37
当 太田 あきひろ	114,052	51.43
公明党	北区	78,785 49.38
	足立区	35,267 56.66
青木 愛	56,432	25.45
日本未来の党	北区	42,119 26.40
	足立区	14,313 23.00
服部 まさみ	9,359	4.22
幸福実現党	北区	6,885 4.32
	足立区	9,359 3.97



結果を報告する池内候補と、そね前都議 =12月17日

池内候補は選挙戦の中で、消費税に頼らず景気とくらしをよくする経済改革、即時原発ゼロ、改憲の策動に正面から反対し憲法9条を守りぬくことなど、政策と公約を堂々と訴えてきました。今回の得票は、こうした池内候補の主張に対して、

16日投開票がおこなわれた衆議院選挙で、東京12区の池内さおり候補は前回(2009年)から1万票余の増となる4万1934票(得票率18.91%)を獲得、議席には届きませんでしたが大健闘・大善戦の結果となりました。とりわけ北区では、得票率が19.90%となり、投票所に足を運んだ5人に1人が池内候補に投票したことになります。



有権者の共感が大きく広がった結果といえます。日本共産党は、今後とも選挙戦で掲げた公約の実現に向けて、全力をつくすものです。総選挙と同時にこなわれた東京都知事選挙では、脱原発・反貧困・教育再生・憲法尊重を掲げた宇都宮けんじ候補は及ばず、猪瀬直樹氏が当選となりました。

←赤羽駅東口であいさつする池内さおり候補と、そねはじめ前都議(左)、のの山けん区議(右) = 12月17日

日本共産党 8 議席獲得

2012年総選挙比例代表(東京12区)の結果

党派	北区		足立区		12区	
	得票	得票率	得票	得票率	得票	得票率
日本共産党	17,346	9.88%	5,928	8.83%	23,274	9.59%
自由民主党	41,943	23.88%	15,375	22.90%	57,318	23.61%
公明党	24,047	13.69%	13,949	20.77%	37,996	15.65%
日本維新の会	31,633	18.01%	12,466	18.57%	44,099	18.16%
民主党	22,431	12.77%	6,956	10.36%	29,387	12.10%
みんなの党	18,055	10.28%	6,244	9.30%	24,299	10.01%
日本未来の党	13,254	7.55%	4,278	6.37%	17,532	7.22%
社会民主党	3,803	2.17%	964	1.44%	4,767	1.96%
新党改革	2,591	1.48%	783	1.17%	3,374	1.39%
幸福実現党	523	0.30%	203	0.30%	726	0.30%
合計	175,626	100.00%	67,146	100.00%	242,772	100.00%

今回の総選挙で日本共産党は、改選9議席から8議席への後退という結果になりました。日本共産党にご支持をお寄せいただいたみなさんに心からお礼を申し上げますとともに、今回の結果をしっかりと総括し、今後のたたかいに生かしてゆく決意です。

2012年衆議院選挙 日本共産党の当選者



高橋千鶴子
(東北)



塩川鉄也
(北関東)



笠井亮
(東京)



志位和夫
(南関東)



佐々木憲昭
(東海)



穀田恵二
(近畿)



宮本岳志
(近畿)



赤嶺政賢
(九州・沖縄)

議会基本条例制定への道筋を

第5回議会改革検討会 通年議会・区議会報告会について検討

18日に開かれた第5回議会改革検討会では年間を通じて本会議や委員会を開会できるとする通年会期制度(通年議会)や、議会での決定事項を区民に周知する区議会報告会の開催について討議。いずれも、実施自治体が少なく情報も限られているため、北区議会での導入の是非は引き続き検討してゆくこととなりました。

この山けん委員は、「議会のあり方に関わる課題については議会基本条例で定めることが必要。今期の検討会では、特別委員会の設置など基本条例制定に向けた具体的な道筋を明らかにすべき」と主張しました。